

## ふるさと納税の実情を探る

12月31日は2025年のふるさと納税の受け付け締め切り日。紙面をご覧になっている方のなかには、締め切り間際のいま、どの市町村にふるさと納税をしようか、お考えの方も多いのでは。ふるさと納税の制度に対しては賛否も多くみられますが、和歌山県内の状況はどうなっているのでしょうか。公開されている資料から読み解きます。

### 自治体間格差が大きい

右表は総務省が公開しているデータをもとに、県内市町村のふるさと納税にまつわる様々な金額をまとめたものです。

「受入寄附金額」はふるさと納税で受け入れた寄付金の総額、「支出」はふるさと納税事業を運用するのににかかった金額、「収支差額」はその差額で、ふるさと納税そのものの「儲け」を示します。収支差額がもっとも多いのは有田市の21億7719万円、もっとも少ないのは岩出市の741万円と293倍の差があります。一方で、住民が他の自治体にふるさと納税

をおこなった場合、住民税の控除が受けられます。この控除額に相当する金額は、本来は居住している自治体に納税されるべき金額です。

「収支差額」は「控除額」を差し引き「補填額」を加えることで、実質の収支額が明らかになります。この実質収支が最も多いのも有田市の21億円あまりとなっています。多くの市町村で「収支差額」と「実質収支」に大きな差はありませんが、和歌山

市では収支差額より実質収支が3億円あまり、橋本市や田辺市などで3千万円あまり少ないほか、岩出市では実質収支が2781万円の赤字になるなど、人口が多い自治体で税収が事実上減っていることがうかがえます。

市では収支差額より実質収支が多く寄せられた自治体のウェブサイトには、ふるさと納税を活用して、地域産業振興のための施設や防災設備の新設、観光コンテンツの造成などの事例が掲載されており、様々なまちづくりに活用されていることがわかります。

運営事業者への支出額も調査されており、全県では約28億円が事業者に支出されています。これは費用の約25%にあたります。また、返礼品についてはその調達金額が寄付額の3割を超えないことというルールがありますが、全市町村平均は寄付額の25・8%、なかには3割ギリギリになっている自治体もみられます。

### 地域へのインパクトは

ふるさと納税の実質収支金額を人口1人あたりで割った額を右表のいちばん右の列に表しています。

もっとも金額が高いのは人口が少ない北山村で住民1人あたり65万円のプラスとなっています。次いで、湯浅町、美浜町、有田市、九度山町の順に金額が

市町村がふるさと納税を運営するのに必要な費用の合計は約112億円となっており、多くの自治体で受入寄附額の約半額の運営費用がかかっています。

総務省の調査では、ふるさと納税を取り次ぐ各種ポータルサイト



ただ、景色が！わがまま いわないの！！

未来の和歌山のために、いま応援しよう

## わかやま しあわせ えがお キャンペーン

2025.11▶12

寄付で応援 参加で応援 学んで応援

「寄付月間～ Giving December～」は寄付が社会に幸せを生み出す社会をつくるために、毎年12月に実施される全国的なキャンペーン。この期間にあわせて行う「わかやましあわせ えがお キャンペーン」は、地域のために活動する県内のNPO・ボランティア団体の活動内容を知っていただき、県民のみなさんからの寄付などの支援をお届けするキャンペーン。活動資金やボランティアを必要としている団体と、寄付や参加で応援したいという県民のみなさんをおつなぎします。

### 寄付で応援

こんな活動をおこなう団体への寄付を募ります

詳しくはこちらから ▼

①こども食堂  
こどもの居場所  
※上記以外の子育て支援事業を含みます

②まちづくり活動  
地域の居場所運営

③高齢者・障害者福祉  
※介護保険や障害者福祉サービスなどの  
公的サービス以外の事業を対象とします

④ご希望の分野・団体への支援

⑥本事業の経費



### 参加で応援

NPO・ボランティア団体の活動に参加する

和歌山県内のNPO・ボランティア団体が主催するイベント情報のほか、現場や自宅でするボランティアなどの情報をとりまとめたものを右側QRコードからご覧いただけます。ご自身の興味のある活動に、ぜひご参加ください。



イベント情報



ボランティア募集情報

### 学んで応援

NPO・ボランティア団体の活動を知って応援する

わかやま NPO・ボランティア大交流会を開催しました

わかやま NPO・ボランティア交流会を11月22日にみその商店街「T-Labo」で開催しました。

NPO法人こどもの生活応援ネットワークこ・はうす、NPO法人自然回復を試みる会ピオトープ孟子、ゼロエンマーケット in 紀の川市運営委員会の3団体から活動をご紹介いただき、約25名の参加者で交流を深めました。ご参加いただいたみなさま、ありがとうございます！

このような交流会は今後も不定期に開催する予定です。

